



死者21人不明者多数

東日本大地震 宮城に津波6メートル



第1波の津波が押し寄せた宮城県気仙沼市。11日午後3時35分、読者提供

総務省消防庁や各地の県警などによると、この地震による死者は午後6時半現在、宮城、福島、茨城などの6県で21人にのぼった。また、警察庁によると、行方不明者は30人以上、負傷者は90人以上になるという。

気象庁は、最大で10メートル以上の津波を予測し、北海道から徳島県の太平洋沿岸を中心に17地域で大津波警報を発令。福島県相馬市で7.3メートル以上、宮城県気仙沼市で6.0メートル、茨城県大洗町で4.2メートル、岩手県釜石市で4.1メートル以上の津波を観測した。

宮城県石巻市内では落下物で1人が死亡。また県南部の野球場でも2人が死亡した。仙台市宮城野区では、中学生が津波に流されて行方不明になっているという。

宮城県の気仙沼湾では午後5時半すぎ、漁船用の燃料タンクが波で倒され出火、漂流物に次々と燃え移り、民家に延焼して一帯が火の海となった。仙台市太白区でも旅館が倒壊

して人が取り残されているほか、石巻市の内海橋で行方不明者が多数いるという情報がある。宮城県利府町のスーパーでは天井が落下し、6歳児が死亡し、母親も重体。

岩手県久慈市では車に乗っていた男性が波にさらわれ、死亡が確認された。また大船渡市で5人、陸前高田市で2人が死亡。岩泉町と大槌町でも各1人が死亡したという。

福島県では、老人ホームで5人が死亡したという情報がある。須賀川地方でも1人が死亡した。

茨城県では死者が相次いでいる。高萩市の接骨院が倒壊し、治療に来ていた70代の女性が死亡、常陸太田市と坂東市でも計2人が死亡したという。

栃木県下野市立国分寺中学校では体育館の天井が落下し、児童1人が病院に搬送されたが意識不明。那須烏山市内では民家4棟が倒壊し、2人が行方不明になっている。